

令和5年度 中高・飯水地区小学校教科用図書の選定について

令和5年8月7日及び18日に開催した、令和5年度 第2回・第3回 中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会において、令和6年度から使用する教科用図書について協議を行った結果、次のとおりとなりました。

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会  
会長 柴本 豊

1 選定日 令和5年8月7日、18日

2 選定した教科用図書及び選定した理由

教科		発行者の		教科書名
		番号	略称	
国語	国語	38	光村	国語
	書写	38	光村	書写
社会	社会	2	東書	新編 新しい社会
	地図	46	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算数		61	啓林館	わくわく 算数
理科		26	信教	楽しい理科
生活		26	信教	せいかつ
音楽		27	教芸	小学生の音楽
図画工作		116	日文	図画工作
家庭		2	東書	新編 新しい家庭
体育（保健）		2	東書	新編 新しい保健
外国語（英語）		38	光村	Here We Go!
道徳		38	光村	道徳 きみが いちばん ひかるとき

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
国語 (国語)	38	光村	国語

#### 選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、各単元、教材のねらいを明確にし、習得と活用を繰り返しながら知識及び技能が身に付けられるよう工夫されている。単元を通して身に付けたい力を「たいせつ」、他教科や日常生活で生かす力を「いかそう」としてまとめ、思考力、判断力、表現力等が身に付くように工夫されている。また、日常生活に関連したり、教科等横断的に資質・能力を伸ばしたりできるような話題・教材を選定し、児童の学習に対する意欲が高まるよう工夫されている。

児童への学習活動への配慮では、文章の長さ、分量、難易の程度が、児童の発達段階に応じて考慮され、無理なく学習が進められるよう配慮されている。日常生活に関連した内容や教科等横断的に資質・能力を伸ばすことができるような話題・教材が選定されており、児童の学習に対する意欲が高まるよう工夫されている。「見通しをもとう」を設定し、学習の道筋を示すことで、児童が見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。低学年では通常よりも太い文字にしたり、文字が小さい箇所などには、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、分かち書きがされていたりして学年の発達に応じた配慮がされている。また、教材の内容理解を助けるために、領域ごとの見出しに色分けされたアイコンが表示されており、児童がイメージを広げられるような絵や写真、グラフが適切に配置されるなどの工夫がされている。

学習指導への配慮では、単元の配列の系統化がなされており、全学年にわたり段階的な指導ができるよう工夫されている。「国語の学びを見わたそう」に、前学年で学んだ既習事項の要点が示され、当該学年とのつながりや領域内の関連を確かめられるよう工夫されている。三つの領域を関わらせた言語活動が、各学年で設定されており、単元末の「ひろげよう」により、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるよう配慮されている。各単元の「ふりかえろう」で知識及び技能の振り返りを位置付けたり、学習活動に結び付く言葉を示したりすることで、知識及び技能が全学年系統的に各領域と関連付くよう工夫されている。学習内容の理解を助け、児童のイメージを豊かに広げる挿絵や写真、デジタル教材を適所に掲載することで、学習展開に有効に活用できるよう配慮されている。また、三つの観点に則した「ふりかえろう」が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるよう、工夫されている。

全体として、各単元に「問いをもとう・目標」が設けられており、児童が全体的に見通しをもって学べるよう工夫されている。また、単元で付ける力や生活に生かす力を「たいせつ」「いかそう」にまとめ、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
国語 (書写)	38	光村	書写

#### 選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、基礎・基本を明確に示すことで、文字の書き方だけでなく知識及び技能を確実に習得できるように工夫されている。全学年で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習展開が示され、自ら課題解決に向けた学習ができるよう工夫されている。また、身の回りの文字文化や言葉に触れられる資料があり、書写学習で身に付けた力を主体的に活用できるように工夫されている。

児童への学習活動への配慮では、文字の構成や点画の書き方を焦点的に示した教材を、系統的・段階的に配置するよう配慮されている。全学年で「ことば」を設けて既習事項を生かして書いたり、新聞やノートの書き方を示したりして、言葉に対する興味・関心を高め、他教科や日常の言語活動に生かせるよう配慮されている。「なぞとき」「こんなときはないかな」の2つの例を示し違いに気付かせたり、どちらの書き方がよいか考えたりし、児童が気付きを持ち技能を身に付けられるように配慮されている。ユニバーサルデザインの観点から、フォント・色使いに配慮するとともに、左利き児童用の教科書紙面や動画が必要だと考える場所に、二次元コードを用意している。また、毛筆学習の各単元に、硬筆欄を設け、毛筆で学習したことをもとに硬筆に活かす意識が高まるように工夫されている。

学習指導への配慮では、学年に応じて習得と活用を繰り返しながら書写の基本的な力が培えるように、単元の配列が工夫されている。1教材1目標とし、身に付ける力を教材名にして分かりやすくしたり、「学年別漢字配当表」に準拠した、部分の形の統一が図られた学びやすい文字を使ったりする工夫がされている。文字の大きさや配列など書写で学んだ技能を、他教科との教科等横断的な学習や日常生活に生かしたり、国語の教科書と連動した教材を一体的に扱ったりし、学習活動に主体性が生まれる工夫がされている。筆使いを言葉や図で示したり、動物のキャラクターの動きや、「すうっ」「ぴたっ」などの言葉を唱えて書くことでポイントが押さえられるなどの工夫がされている。また、各単元に「ねらい」「たいせつ」、巻末には「たいせつのまとめ」を設け、各学年で学ぶ要点を振り返ることができるよう工夫されている。

全体として、国語の教科書と連動した教材が全学年に設定され、国語と一体的に扱うことによって、学習活動に必然性が生まれる工夫がされている。全学年「ことば」の教材で、日常の言語や物語・詩や俳句などを「書き写し、言葉の美しさを味わえるよう配慮されている。また、4学年に「SDGsブック」を設けるなど、教科書全体を通してSDGsの達成に向けた工夫がされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
社会 (社会)	2	東書	新編 新しい社会

#### 選定した理由

3社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、長野県内の事例が多く掲載されており、児童の暮らしの中で比較的身近に社会的事象を捉えやすくなっている。・生活に身近な諸課題を取り上げ、主体的に問題解決しようとする態度や、実社会に参画しようとする態度を育めるようになっている。また、様々な立場の人の思いに触れて、社会的事象を理解できるようになっており、課題把握、課題追究、課題解決の過程が明確である。

児童への学習活動への配慮では、情報収集の仕方や発信・表現の仕方等、児童の発達段階に合わせた学び方が「まなび方コーナーで」例示されている。「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方が明示されている。「まとめる」では、学習問題に対する振り返りが書けるようになっており、重要語句を用いながら、児童が自分の言葉で学習のまとめが書けるよう配慮されている。4種類のマークを用いて、社会的な見方・考え方が提示されており、多角的に考えを深められるよう配慮されている。また、「まなびのポイント」に、話し合い活動が多く示され、対話的な協働学習の場が担保されている。調査・見学の場面では「調べること」「調べ方」「まとめ方」が示され、社会的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。ICTを活用した表現活動の場も設けられている。全体的に明るい配色で、図表や写真が多いため、児童が見やすく、使いやすいように配慮されている。

学習指導への配慮では、5・6年生は2冊の教科書に分けられており、特に6年生では、歴史と公民を2冊に分けることで、歴史の学習を分断せず、分野ごとに整理された単元展開ができるようになっている。児童の疑問から単元を貫く学習問題や本時のめあてが提示され、自然に、連続的に追究していける展開になっている。キャラクターやマークを用い、社会的な見方・考え方を児童に分かりやすい形で提示しており、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考察するための配慮がなされている。SDGs等、実社会で話題になっている諸課題について取り上げている。感染症やメディアリテラシー等について、配慮した記載もある。いくつかの絵や写真を並べて提示することで、児童の疑問が自然に生まれるような工夫がなされている。6学年の歴史では、短い年表がこまめに提示されることで、今学習している出来事の前後で何があったかが捉えやすく構成されている。また、多様なまとめ方で、表現力を育むための工夫がなされている。まとめるときのポイントや重要語句も示されている。

全体として、児童の疑問に始まり、問題解決的な学習展開になるよう工夫されている。知識の定着に限らず、学んだことを活かしたり、発信したりしていく力が育まれるようになっている。また、社会的な見方・考え方や学習の方法、まとめ方等が、児童に分かりやすい形で示され、学習意欲を喚起するものとなっている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
社会 (地図)	4 6	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

#### 選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、地域や我が国の地理的環境、歴史、伝統、文化について様々な資料や設問が掲載されており、資料の読み取りなどを通して社会生活への理解を深めることができるよう工夫されている。各地の特色が視覚的に分かりやすく表されており、他の地域や国との相互の関連や問題点を見つけたり、それらをまとめる表現力を養ったりすることができるよう配慮されている。また、現代社会における我が国及び国際社会の諸課題に関する情報が掲載されており、主体的に問題解決学習に取り組むことができるよう配慮されている。

児童への学習活動への配慮では、地図の表記は、8地方の地方図に加えて主要地域の拡大図があり、重要な地名・産物・歴史事項が視覚的に分かりやすい図で示されている。大地図・小地図も豊富であり、マクロ的にもミクロ的にも対応した読み取り学習が可能である。自然の様子と関連付けて災害や防災について掲載し、貿易・食糧問題・観光業を見開きにまとめる等、社会のつながりを学び、課題解決学習を進めやすい工夫がされている。地形図のページが明るい色調でまとめられ、標高や土地利用が視覚的に分かりやすく読み取れるよう工夫されている。また、統計資料のページでは、農産物や工業製品の名称と共にイラストが掲載され、数字だけの羅列に苦手意識を持つ児童も親しみやすく学習に取り組めるよう工夫されている。

学習指導への配慮では、目次、各ページ左上の見出し、索引の3か所から、授業中に必要な資料をすぐに検索できるよう編集されている。都道府県の名称と位置について、大きなフォントで有名なもの、形や手話での表し方などが掲載され、多方面から「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」へのアプローチができる。地図マスターへの道や世界の子どもたち、SDGsへの取り組みなどが各ページに掲載され、それらに取り組みせることで「思考力、判断力、表現力等の育成」を図ることができる。巻頭の世界地図、日本地図には、自分が住む国や都道府県を探し設問があり、身近な地域から学びを広げ、「学びに向かう力、人間性等の涵養」を高めるよう配慮されている。ページ見出しのQRコードを読み取ると地図に関連したコンテンツを見ることができる等、ICTを活用した学びに対応できるよう工夫されている。また、「3年生の学習」「地図のやくそく」「地図帳の使い方」について、14ページにわたって見やすく掲載されており、3年生から地図の見方の基礎を学べるよう工夫されている。

全体として、8方位と土地の使われ方、陸の高さが各ページに掲載されており、既習の地域と比較して学べるよう工夫されている。また、地域同士のつながりだけでなく、その地域の過去から現在までの歴史についても学べるよう工夫されており、歴史的分野の学習や、総合的な学習の時間にも活用できる。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
算数	6 1	啓林館	わくわく 算数

#### 選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、児童が主体的に算数を生活や学習に生かすと共に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう配慮されている。数学的に考える資質・能力を育成するため、数学的な見方・考え方を働かせて考える場面設定が多く、工夫されている。また、学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする創造的な態度や学んだ算数を日常生活に生かそうとする態度を培えるよう工夫されている。

児童への学習活動への配慮では、発達段階に配慮し、学びの繋がりを重視した構成で、年間配当時数は標準時数よりも余裕を持たせた分量で構成されており、児童が学びやすくなるよう配慮されている。全ての主問題に「めあて」と「まとめ」「復習」等が設定され、児童自らが見通しを持ったり、既習事項とつなげながら振り返って考えたりすることが習慣化できるよう工夫されている。まとめにつながるように展開がとても工夫されている。また、「めばえ」を位置付けることで、これまで学習したことなどを生かして、児童自ら問いや見通しを立てやすいよう配慮されている。単元末の「やってみよう」では、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動が取り入れられ、学習したことを算数や生活に生かせるとともに児童が算数に興味をもつよう工夫されている。巻末の「もっと練習」では、補充問題や挑戦問題が多く掲載され、習熟度に応じて自学自習ができ、児童が繰り返し学習できるよう配慮されている。書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず児童が読みやすくなるように配慮されている。また、児童が学習する際に、躓くことが予想される立式において、図を活用するなど十分な配慮が講じられている。

学習指導への配慮では、全ての児童が学習する必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」との2部構成になっており、一人一人の学びに対応できるように配慮されている。単元導入場面では「じゅんぴ」のページが示されており、既習事項を常に振り返りながら、身の回りのことがら等から、新たな学習内容にスムーズに取り組めるとともに追究が主体的に進むように工夫されている。単元間、学年間での学びの繋がりを重視し、軸となる数学的な見方・考え方にマーカーを付して強調することで、働かせる数学的な見方・考え方について既習内容を意識した指導ができるよう工夫されている。「学びのサポート」の「もっと練習」には補充問題、単元末の「やってみよう」には発展的な課題が掲載されており、児童の学習理解度に応じた指導に生かせるよう配慮されている。探求活動を促すQRコンテンツが充実しており、図形を自由に動かしたり計算の仕方やコンパスなどの使い方などを動画で確認したりするなど、一人ひとりの学びをサポートする配慮が多数されている。また、利き手にあった動画を選択でき、児童の特性に合わせて指導できる。また、単元末の「たしかめよう」では、問題の設定の意図と関連ページが示されており、指導と評価の一体化を図ることができるよう工夫されている。

全体として、児童が自ら問いをもち、見通しを立てて追究し、よりよい問題解決に向かうことができるようたいへん工夫されている。児童が数学的な見方・考え方を働かせ、統合的・発展的に考えていくことができるよう工夫されている。また、1学年のスタートブックの取り扱い項目が厚く、丁寧に学習を進めることができる

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
理科	26	信教	楽しい理科

#### 選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、児童にとってより身近に感じる県内各地の素材を活用して、自然の事物・現象への理解を図り観察、実験の基本的な技能を身に付けられるような構成となっている。自然の事象との触れ合いをとおして問題を見だし、観察、実験を見通して、児童が問題解決しやすいような構成となっている。また、長野県の地域性を考慮し、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度が養われるよう配慮されている。

児童への学習活動への配慮では、各学年とも、学習内容の程度や分量が児童の発達段階に応じるよう配慮されている。県内の特色ある自然や季候に適合した単元の配列になっている。写真の多くは、児童が身近に感じられるよう長野県内の自然の風景や地形が使われている。単元全体をイメージできる写真が単元冒頭に使われ、話合いの場面をキャラクターで示してあることで、対話の内容や仕方に見通しを持って学習が進めやすくなっている。観察、実験、調査の手順が、写真やさし絵を使って具体的に示されている。また、二次元コードで検索できるため、思考が深まるように配慮されている。安全については、注意マークや赤い枠で分かりやすく強調されている。さし絵、写真、図表は鮮明であり、細かい箇所はズームアップされた写真、図を用いる等の配慮がされている。

学習指導への配慮では、各単元で児童の生活経験や活動、意識から問題が設定されている。また、予想、実験、結果、わかったこと（考察）という問題解決の学習過程が一連の流れで構成され、児童の思考に寄り添っている。各単元の冒頭に「思い出そう」の記述を設けることで、既習の内容との繋がり（系統性）が示されており、学習の関連性や連続性が児童に捉えやすくなっている。生物や自然環境の様子などが長野県の気候に合わせて単元配列がなされており、児童が直接自然に触れ、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。注意点を赤い枠で強調し、安全かつ正確に観察、実験ができるよう、配慮されている。児童の興味・関心や問題意識を高めるために、長野県で見られる地形や活動の写真が使われている。また、単元末には、本単元で学習した内容を「ふりかえろう」というまとめのページや、関連した資料が位置づいており、児童が振り返ったり追究を深めたりしやすく工夫されている。

全体として、長野県の特色ある自然や身近な教材を豊富に取り入れ、児童の生活経験と関係させて、無理なく思考を繋げながら学習を進められるように工夫されている。また、自然と関わり事象を直接体験して問題を見だし、児童の意識の流れに沿い、主体的・連続的に問題解決できるよう配慮されている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
生活	26	信教	せいかつ

#### 選定した理由

7社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、地域に生まれ、地域に育つ子どもが、その地域ならではの具体的な活動や体験を通して、社会事象、自然事象、自分自身について気付けるように配慮されている。動植物との息の長い体験活動や四季を通じた直接体験の中で、自らが主体的に対象へ働きかけ、働き返しをもとに思考・判断・表現しながら命のドラマを体験できるよう配慮されている。また、子どもの願いを大切に活動の端緒や追究過程、また自分の生活や成長が自覚できるような振り返りの場面を大切にしている。

児童への学習活動への配慮では、入学直後の児童が安心感をもてるようにスタートカリキュラムのページを掲載して、発達段階に応じて、児童の興味関心が広がり深まっていくように配慮されている。身近な地域の人、もの、ことや動植物に、2年間を通して繰り返し働きかけることのできる構成となっており、対象への思いを深め、より深い学びにつながるように配慮されている。「感動体験」「探究活動」「表現活動」が多様に示されており、より深い学びにつながる友だち同士の学び合いや情報交換の場が位置付くよう配慮されている。活動の端緒や学びを表情豊かな写真、吹き出しやさし絵で示し、活動が広まったり深まったりするように配慮されている。また、観音開きページの使用、児童の意識に沿った本文、吹き出し、対話等により、児童の思考が深められるように配慮されている。

学習指導への配慮では、児童にとって身近な地域にある豊かな自然や日常的な事象を取り上げた単元構成となっており、他教科、総合的な学習の時間と関連づけられるように配慮されている。活動にストーリー性のある紙面構成となっており、児童が願いを持ち、友達や家族、地域の人々とかかわりながら学習を進めていけるように配慮されている。地域の野山や川といった自然の中で四季を通して活動する様子がさし絵や写真、吹き出しで表され、児童が興味関心を持ち、自分も「やってみよう」と思えるよう配慮されている。動植物と関わる息の長い活動では、対象に思いを寄せながら自己決定したり、友だちと力を合わせて活動するよさを感じたりできるように配慮されている。県内の学校の実践をもとにした、学習やさし絵、文章、作品が多く掲載され、伝統的な行事などの地域性や季節感を感じられる親しみやすい構成となるように工夫されている。また、振り返りの場を大切に、動植物や家族や地域とのかかわりが深まり、自分の学びや成長を自覚できるよう配慮されている。

全体として、・地域に育つ児童の願いから活動が立ち上がるように工夫され、自ら課題をもって学習できる展開になるよう配慮されている。また、長野県内のそれぞれの地域の特色を生かした体験活動が豊富に掲載されており、多様な学習ができるように配慮されている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
音楽	27	教芸	小学生の音楽

#### 選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、音楽を形づくっている要素が右下インデックスで示され、それを生かして無理なく表現や鑑賞の活動が進められるように、題材が系統的に構成されている。また、「何を目標に」「どのように活動して」「何を学ぶのか」が一目で分かるような紙面構成になっていて、見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。

児童への学習活動への配慮では、各学年の目標を実現するために、題材名、題材のねらい、学習目標、活動文、学習のまとめが見やすく構成されている。音楽づくりのワークシートではICTを活用して選んだ音をすぐに聞くことができ、自分で作った音がイメージに合っているのかどうか判断できる工夫がされている。巻頭の学習マップでは、学習活動ごとに内容が示されており、その学年で何を学ぶのか見通しが持てるようになっている。興味関心を引き出したり、思考が深まるきっかけになったりするような吹き出しやヒントが盛り込まれ、協働的な学びにつながるよう工夫されている。また、文字を配置する時は、背景の絵や写真に合わせて読みやすくなるように工夫がされている。またUDフォントを使い視覚的にとらえやすいように配慮されている。

学習指導への配慮では、「そだてよう」「思いだそう」のマークを手掛かりに、繰り返しや積み重ねの学習を行いやすくなっており、基礎的な能力の定着、伸長が確実に図れるように配慮されている。音楽づくりでは、デジタルコンテンツによって、技能のレベルに左右されることなく試行錯誤を繰り返しながら音楽をつくることができ、プログラミング的思考を育成する配慮がなされている。考える・見つける・歌う・演奏する・つくるのマークを手掛かりに、子どもたちが主体的に学習を進めていけるように工夫されている。我が国や郷土の音楽を学ぶ題材が、学年の段階に応じて系統的、発展的に配置されている。また他教科との関連も図られており、多様な文化に触れることができる。二次元コードから使えるカードや写真、動画、音源等の教材が、個々の児童の理解を深める手助けとなっている。キャラクターの吹き出しのヒントにより、対話的に学習が進められるように配慮されている。また、題材の最後には、学習のまとめが具体的に示され、評価の観点が明確になるように工夫されている。

全体として、いくつかの教材や学習活動を組み合わせることによって、題材の目標が達成されるように構成されている。また、教科横断的な学習を促したり、SDGsやキャリア教育につながる視点を示したりすることにより、音楽で学んだことを自分の人生や社会に生かすことができるよう工夫されている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
図画工作	1 1 6	日文	図画工作

#### 選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、造形的な視点で知識及び技能が習得できるよう、自分の感覚や行為を大切に学ぶ題材が扱われるよう配慮されている。自分が感じたことや体験から発想や構想をする児童の姿と、多様な表現が掲載され、創造的な表現を促すよう配慮されている。また、造形活動を通して、感じ取ってほしいことや他教科、社会、生活との関わりが示され、進んで関わる態度を培う配慮がされている。

児童への学習活動への配慮では、各学年の内容の系統に準拠した題材、材料や用具が適切に取り扱われ、目指す資質・能力が育成されるよう配慮されている。用具の扱い方も、児童の発達と学年の順序性に留意されている。教科書の見開きの中に、製作過程の写真と児童のつぶやきが多く示され、造形活動のよりどころとなるよう工夫されている。各題材に「学習のめあて」が示されて児童が見通しをもって造形活動に取り組み、「ふりかえり」を促す問いかけで身に付けた力を自覚し、次の活動へつなげていく配慮がされている。巻末の「材料と用具のひきだし」で、安全で適切な扱いができるように写真やイラスト等で示し、「思い出そう」で既習事項の確実な定着を図っている。また、全ての児童が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色などに配慮すると共に、題材名は見やすく、楽しく取り組めるようデザインされている。

学習指導への配慮では、全ての題材に図画工作科の目標に基づく「学習のめあて」が示されており、育成を目指す資質・能力の三つの柱が児童に分かりやすい言葉で表されている。「教科書美術館」や「広がる図工」を、関連が深い題材とつなげ、表現と鑑賞を往還しながら学びを深める工夫がされている。「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」「鑑賞のヒント」には、児童の造形的な見方・考え方を働かせる投げかけが示され、深い学びにつながるよう工夫されている。自分の表したいことが工夫して表せるよう、材料や用具の基礎的な扱いを写真やイラストで説明すると共に、一人一人の学習進度に合わせてQRコンテンツの活用ができるようにしている。学習の流れが見えるように紙面が構成され、児童の多様な発言や作品の写真を掲載し、自分ならこうしたいという思いが持てるよう工夫されている。また、「ふりかえり」で感じたり考えたりすることを例示し、児童の気づきを大切に学習過程の振り返りができるよう工夫されている。

全体として、造形的な見方・考え方を働かせて学習できるように、全題材を通して造形的な視点で捉え、自分のイメージをもって意味や価値をつくりだせるように図版や吹き出しなど配置されている。また、発想や構想、鑑賞などの場面で児童がひとやものと対話しながら活動する様子を紹介し、協働的な学びを促している。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
家庭	2	東書	新編 新しい家庭

#### 選定した理由

2社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、実践的・体験的な活動を通して、発達段階に応じて必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるように配慮されている。3ステップで、課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。また、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度が育つよう配慮されている。

児童への学習活動への配慮では、衣食住に関する内容が、基礎・基本から応用へと、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。学習内容を「成長の記録」で振り返ることができるよう配慮されている。「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3ステップで構成され、問題解決的な学習に取り組めるように工夫されている。実践的・体験的な学習例や、児童の主体的・対話的な学びにつながる活動例が取り上げられており、児童が実感を伴って理解できる学習展開となるよう配慮されている。巻頭の見開き特集ページで衛生・安全に関する内容を示し、各単元のマークやチェック欄で意識できるように配慮されている。また、写真やイラストが色鮮やかであり、児童の意欲を喚起する配慮がなされている。「材料を切る」「布を縫う」などの具体的な方法が実物大の写真で示されており、児童が手を添えて実習のイメージがもてるよう配慮されている。各ページにQRコードが記載され、学びを広げるコンテンツが充実している。

学習指導への配慮では、衣食住や消費生活・環境など全ての内容において、統一感、関連性をもって学習できるように組まれている。「生活を変えるチャンス！」を設け、学んだことを家庭や地域と連携し、実践的な学習が展開できるよう配慮されている。各大題材の最初に「家庭科の窓」を位置付け、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して、児童が相互に関わりながら主体的に活動できるよう、題材の取り扱いがなされている。生活を見つめ、集団や個別で学びながら知識及び技能を高め、資質・能力の習得につながるよう学習が配列され、家庭との連携に発展する内容で構成されている。児童が興味をもちそうな配色やデザインを考慮した図や写真を採用している。SDGsの視点、プログラミング教育、キャリア教育など、時代の進展を意識した内容が盛り込まれている。また、題材のめあてに呼応した「できたかな?」「ふり返ろう」の欄と、題材全体を振り返る「成長の記録」によって、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。

全体として、全題材で、具体的な活動内容が示され、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。また、児童が興味をもてそうな学習例を、写真やイラスト等で多数紹介しており、学習への意欲が喚起されやすい。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
体育 (保健)	2	東書	新編 新しい保健

#### 選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、身近な生活の中の課題を自分事として捉え、様々な学習活動を通して知識及び技能を習得することができるよう配慮されている。学習した知識をもとに自分の考えを表現したり、他者と交流したりすることができるよう配慮されている。また、他学年や他教科とのつながりや関連資料が示され、学びをつなげながら健康の保持増進を目指すことができるよう配慮されている。

児童への学習活動への配慮では、小単元での絵や写真、記述する量が学年に応じて変えられており、発達段階に応じた内容の配慮がされている。小単元が「気づく・見つける」から「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されており、児童の主体的・対話的な学びを支える工夫がされている。「実習」「スキル」のコーナーが位置付けられており、児童が自分で試したり生活に介したりできるように工夫されている。重要な語句を開設で詳しく説明したり、資料で関連する内容を扱ったりするなど、児童が理解しやすいよう配慮がされている。また、ステップ1（気付く・見つける）では、実生活の身近な場面や印象的な資料を提示し、児童自身が課題に気づくことができ、主体的・対話的な学びにつながるよう配慮されている。

学習指導への配慮では、「どんな自分になりたいかな」「どんな自分になれたかな」のコーナーが設けられ、3から6年の学びの系統性が図られている。章扉に、学習に関連する他学年や他教科との関連、SDGsの内容が示されており関連付けに工夫が見られる。ステップ1で児童の気づきを引き出し、次のページに学習課題が設定されており、自ら課題を発見し主体的に取り組むことができるよう工夫されている。「スキル」のコーナーで命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。QRコンテンツが充実しており、思考ツール・実験動画・図鑑等、児童の関心を高めたり、理解を深めたりすることができるよう工夫されている。また、気づきや考えを記入する欄は、実験結果や自分の経験からあてはまるものを選択したり、考えを整理したりしながら記入することができ、課題解決に向けて考えたり表現したりできるよう工夫されている。

全体として、全ての学習内容において4ページからなる4ステップで構成され、ステップ1（気付く・見つける）→ステップ2（調べる・解決する）→ステップ3（深める・伝える）→ステップ4（まとめる・生かす）となっており、主体的・対話的で深い学びとなるように工夫されている。また、各小単元の終わりに、「資料」や「スキル」が示され、学習したことを発展的に深めることができるように工夫がされている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
外国語 (英語)	38	光村	Here We Go!

#### 選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、聞いたり話したりする音声中心の学習から、読む・書く活動に段階的に取り組むことで、基礎的な技能を身に付けられるよう工夫されている。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて主体的に表現できるよう工夫された活動が多く設定されている。また、自文化や異文化について扱う単元があり、自国や他国の文化や生活を理解し尊重する心が育つよう工夫されている。

児童への学習活動への配慮では、内容が発達段階に即しており、分量も配慮されている。各Unitの前半に、目的・場面・状況が明確でストーリー性のあるアニメーションを視聴する活動が設定されており、個性豊かな登場人物や内容に興味をもって聞いたり、その単元で学習する表現に気付いたりできるよう工夫されている。十分に聞いたり話したりし慣れ親しんでから、文字、単語、語句、文を読んだり書いたりする活動へと段階を踏んで学ぶことができるよう配慮されている。巻末に「All About ME」という一年間の学びの記録となるシートがついている。各単元の終末に記入していくことで、自分の学びの足跡が可視化できるよう工夫されている。また、写真やイラストが多く使われており、活動の内容をイメージしやすくなるよう工夫されている。また、各学年に別冊絵辞典があり、単語や表現を探したり4線に書き写したりする際に役立つよう配慮されている。

学習指導への配慮では、5学年では自分、他者、地域、6学年では日本、世界、将来がテーマとなっている。また、両学年とも、教科等横断的な内容、キャリア教育や防災教育、SDGsの視点が盛り込まれており、様々な題材を通して、視野を広げることができるよう工夫されている。平易なものから段階的に配列されている。イラストや吹き出しを用いて既習表現の活用を促す「Plus One」や「Response」、該当の活動において他に使えるような表現例を見ることができる二次元コードがあり、思考力・判断力・表現力を高め、コミュニケーションが豊かになるよう工夫されている。各学年3か所に「まとめYou can do it!」というやり取りや発表の活動が設定されており、既習表現の活用を促し、思考力・判断力・表現力が高まるよう工夫されている。写真やイラストから活動の内容が推測しやすく、聞き取る活動では場面をはっきり見分けられる写真が多く用いられている。また、巻頭に「5年生でできるようになること」、「6年生でできるようになること」が到達目標(CAN-DO)として明記され、自己評価しながら達成度を確認できるよう配慮されている。

全体として、2年間に渡って「ストーリー」が展開され、児童が、個性豊かな登場人物に興味をもって言語活動に取り組めるよう工夫されている。また、既習表現の活用場面が随所に設定されており、各Unitの目標に向かい言語活動が充実するよう工夫されている。

教科 (種目)	発行者の		教科書名
	番号	略称	
道徳	38	光村	道徳 きみが いちばん ひかるとき

### 選定した理由

6社の教科書を選定対象図書として研究協議を行った。このうち、上記の教科書を選定した理由は以下のとおり。

教科の目標からの配慮では、教科の目標を達成するために必要な内容項目について、35の教材が平均的に割り振られ盛り込まれている。また、各学年冒頭の「道徳が始まるよ」で、道徳の内容の視点と内容項目とが児童に分かりやすい言葉で示され、学習全体を俯瞰できるように工夫されている。

児童への学習活動への配慮では、児童の発達段階に合わせて、学年に応じて重点的な内容項目が設けられ、確かな学習経験となるよう配慮されている。吹き出しでキャラクターの言葉を示し児童の意欲を高めている。各学年最初の教材に付いている「道徳の学び方」で、教材への向き合い方を示し、児童がより主体的に学べるよう工夫されている。また、教材末に「考えよう・話し合おう」が設けられ、段階的に学びを深めたり、自分自身との関わりについて考えたりできるよう発問が工夫されている。教材の文中、教材末に「演じて考えよう」が設けられ、体験的な学習を通して、実感をもって考えが深められるよう配慮されている。他教科の教科書と同じB5変型判を用い、本文を光村教科書体で示し、手に取ったり読んだりしやすいように配慮されている。また、配色鮮やかで、登場人物のイラストの表情が分かりやすい。また、色の違いだけでなく文字の説明を加える配慮がされている。

学習指導への配慮では、読み物教材だけでなく、漫画形式の教材、見開き1枚の絵や写真からなる教材など、多様な教材が位置づけられている。多くの学校で行われている活動や行事を題材にした教材が位置づけられ、学校の実態に応じて指導計画を作成できるよう配慮されている。現代的な課題について、教材(1,2つ)とコラムで構成したユニットで丁寧に扱えるようにし、6年間でSDGsの17の目標全てに触れられるよう配慮されている。挿絵に登場人物名を添え、教材の内容把握に負担を感じさせないように配慮されている。また、「考えるヒント」で、様々な学習活動や思考ツールを紹介し、多面的・多角的な学習指導に生かせるよう配慮されている。巻末折込みの「学びの記録」にシールを貼ったり、感想を書き込んだりして自己評価を行い、児童が自分の変化や成長を自覚している様子を把握できるように配慮されている。

全体として、各教材は、キャラクターによる呼びかけの導入から始まり、「考えよう・話し合おう」「つなげよう」とで構成され、問題解決的な学習、体験的な学習が可能となるよう構成されている。多様な教材により児童が様々な道徳的価値に触れ、発達段階に合わせて対話する力を育み、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考えることができるよう配慮されている。また、検討結果から総合的に判断すると、教えやすさ・学びやすさについて、優れていると考える。